

第4回合同委員会 業務委員会報告

Date: 2023/2/21

合同委員会開催予定

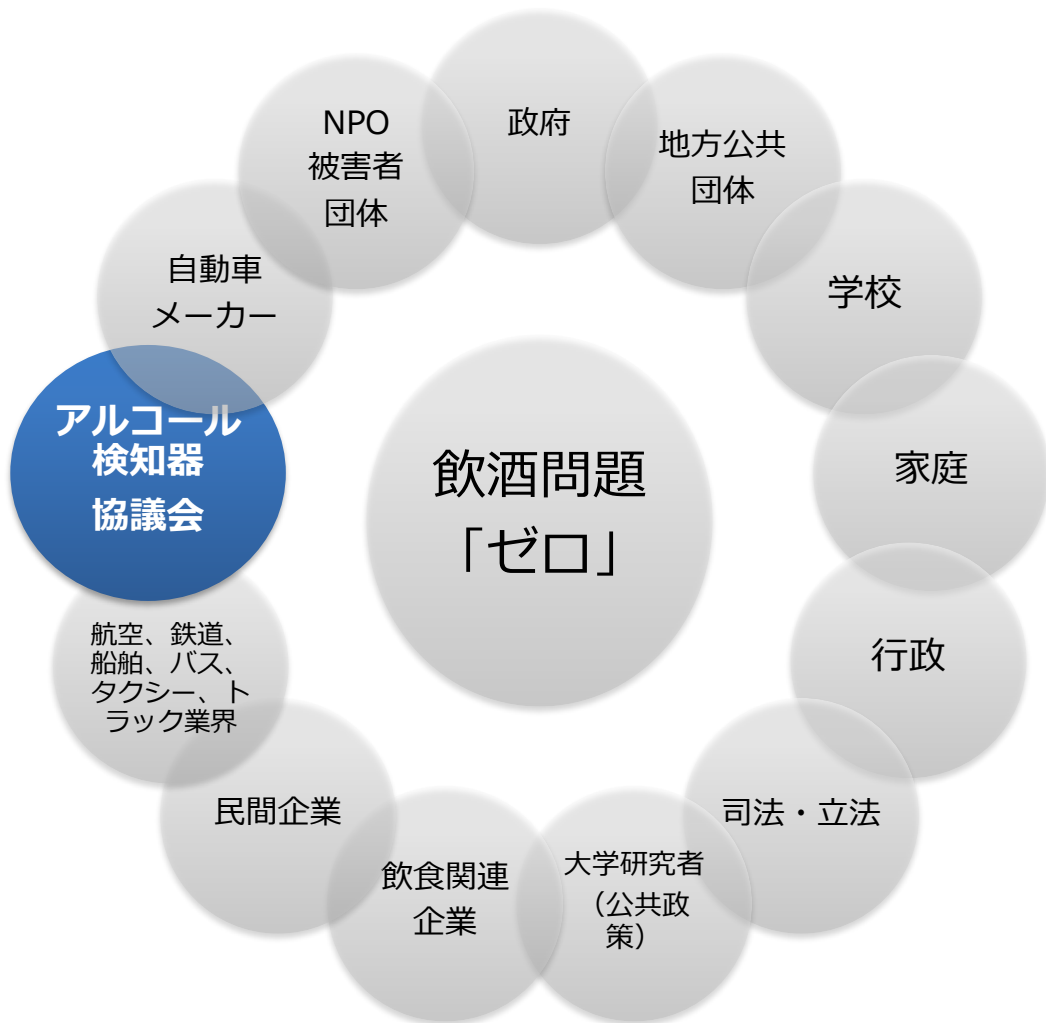
開催	候補日
定時総会（第8回）	2022年4月22日
第1回	2022年4月22日
第2回	2022年7月29日
第3回	2022年10月26日
第4回	2023年2月21日

- ✓ 2022年は、ウェブのみとする
- ✓ 各作業班ごとに、随時活動提案および活動結果を会合で報告

アジェンダ

No.	議題	発表者	審議	報告	時間
1	業務委員会活動サマリー	東野		○	10分
2	展示会/教育班報告	内丸さま		○	10分
3	WEB/IT班報告	細川さま		○	10分
4	海外班報告	杉本さま		○	10分
5	調査班報告	平川さま		○	10分
6	連絡事項	事務局		○	5分
7					

**業務委員会での活動
ありがとうございました。**



会則第2条（目的）

本会は、アルコール検知器の技術や品質の向上、ならびにアルコール検知器の普及啓発によって業界の地位の向上を図る。

本会は、関係官庁、各団体との連携と会員相互の協調を通じて、アルコールの過剰摂取や短時間での大量摂取等に代表される飲酒問題や自動車等の飲酒運転の根絶に寄与することを目的とする。

本会は、営利を目的としない組織である。

会則 第3条 (活動内容)	業務委員会	技術委員会
(1) アルコール検知器の利用と活用に係る普及および啓発。	<input type="radio"/>	
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。		<input type="radio"/>
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	<input type="radio"/>	
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	<input type="radio"/>	
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	<input type="radio"/>	
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

FY22 業務委員会ワーキングリーダー

- ①展示会/教育班 (LD : 中央自動車 内丸さま)
- ②WEB/IT班 (LD : テレニシ 細川さま)
- ③海外班 (LD : 東海電子 杉本さま)
- ④調査班 (LD : パイアール 平川さま)
- ⑤統計班 (LD : 中央自動車 三井さま)
- ⑥制作班 (LD : サンコーテクノ 坂口さま)
- ⑦記録班 (LD : フィガロ技研 西村さま)

① 展示会/教育班

各種展示会出展、セミナー対応による認知度向上



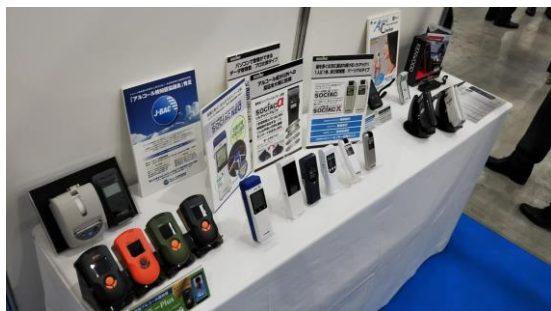
運輸交通システム（東京）



関西物流展（大阪）



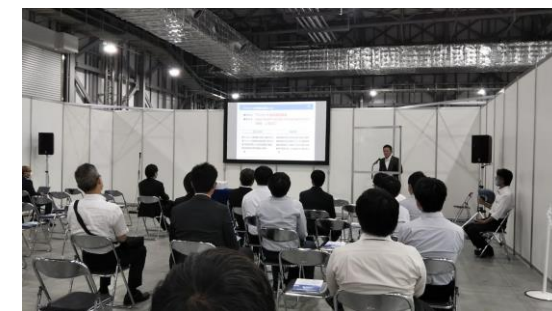
緑十字展（福岡）



検知器の展示



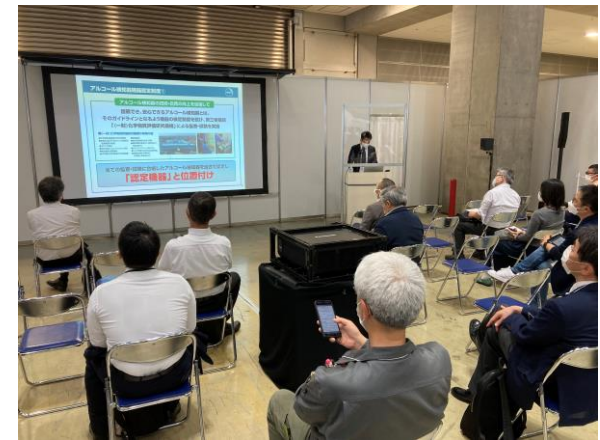
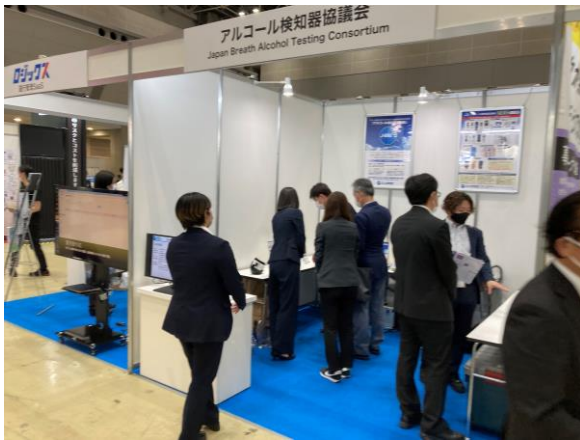
ブース対応



セミナー登壇

① 展示会/教育班

運輸交通システムEXPO (東京ビッグサイト) 5月24日~26日



展示会・教育班対応者 (内丸リーダー)

- ・ セミナー 赤嶺さま、佐川さま、牛込さま
- ・ ブース 内丸さま、坂田さま、菅井さま、弥勒寺さま、森田さま、濃人さま
四方さま、高本さま、永山さま、他

① 展示会/教育班

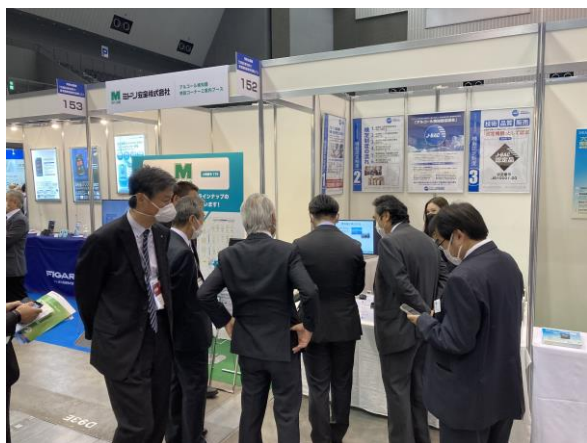
関西物流展（インテックス大阪） 6月22日～24日



展示会・教育班対応者（内丸リーダー）
・テープカット登壇 酒井さま

① 展示会/教育班

緑十字展 (マリンメッセ福岡) 10月19日~21日



展示会・教育班対応者 (内丸リーダー)

- ・ セミナー 内丸さま
- ・ ブース 三浦さま、佐川さま、細川さま、永山さま、四方さま、大西さま
赤嶺さま、他応援のみなさま

中央自動車 内丸さま



公式サイト の 運営を通じて、強力な広報活動を実施する

アルกอฮอล์検知器協議会
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM

HOME | 協議会概要 | 会員団体 | アルコール検知器機器認定制度 | 認定機器一覧 | 入会案内 | 問い合わせフォーム | アルコール検知器の正しい使い方 | よくあるご質問 | 会員専用

アルกอฮอล์検知器の品質向上と普及を通じて、飲酒運転根絶に貢献するも使命。
「アルกอฮอล์検知器協議会」発足

J-BAC

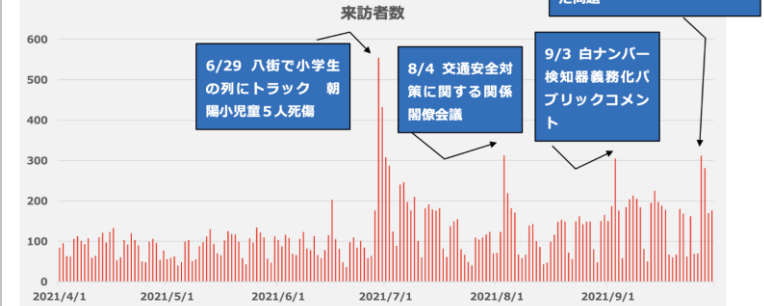
新着情報

2022.05.27 「第3回 関西物流展」オープニングセレモニーに参加いたしました。

2021.06.29 「第2回 関西物流展」オープニングセレモニーに参加いたしました。

ウェブサイトの解析報告により市場の変化を伝えた

2021年6月29日の千葉県八街市の児童5人死
傷事故をピークとして、来訪者数が増加傾向にある。



<p>東海電子(株)「ALC-PRO II T-ALC-P200」 認定番号: JB10001-7</p> <p>一般企業や運輸企業の出発管理向けに特化した、アルコール検知システムです。簡易操作で測定結果・測定前後の動画が1年以上記録されます。不正防止機能が充実した、標準モデルでありながら、IC免許証・血圧計との連動、IT点呼等、拡張性にすぐれた入門機です。</p> <p>> 詳しくはこちら</p>	<p>(株) バイ・アール「アルクラーW」 認定番号: JB10001-8</p> <p>アルクラーPlusに日本製高精度センサーを搭載した電気化学式検知器が登場！スマートフォン連動型アルコールチェックシステム「いっつどどこでだれが検知したのか」をwebで確認し、確実な管理と不正防止に活用できます。</p> <p>> 詳しくはこちら</p>
<p>フィガロ技研(株)「フーゴプロ FALC-11」 認定番号: JB10001-9</p> <p>運輸業務管理に最適な機能を搭載したアルコール検知器です。事務所設置型、遠隔地管理用いすれの使い方もでき、付属のPC管理ソフトで検査結果を一元管理することが可能です。</p> <p>> 詳しくはこちら</p>	<p>サンヨーテック(株) 「多機能業務用アルコール検知器 ST-3000」 認定番号: JB10001-10</p> <p>高性能センサー「燃料電池式センサー」を搭載。まずは、検知器単体から導入し、PC管理できるGuardian NEXT及びIT点呼システムGuardian NETまでシステムアップをすることが可能です。お客様の様々なシーンで活用できる検知器です。</p> <p>> 詳しくはこちら</p>

アルコール検知器の正しい使い方

アルコール検知器協議会からのお願い

アルコール検知器 正しい使い方してますか？

正しい運用

点呼時に酒気帯びの有無を確認する際には、営業所ごとに備えられたアルコール検知器を必ず使う必要があります。

正しい測定

～測定・使用の時の注意事項・販売ガイドライン～

アルコール検知器に反応が有る飲食物等をあらかじめ測定者に伝えておきましょう。

飲酒以外でのアルコール反応があった場合の対処法を事前に伝えておきましょう。

アルコール検知器ごとに定められた測定、保管環境を守ってください。

正しい日常点検

～常時有効性保持の義務化にともなう点検項目を実施～

損傷がないこと

電源が入ること

正常呼吸で反応が出ないこと

アルコール成分を含んだ呼吸等に反応があること

正常呼吸で再測定をして反応が出ないこと

これらの確認、実施記録を確保することを推奨します

正しい定期メンテナンス

アルコール検知器のセンサーは、使用によって劣化するものであり、体系的に管理・運用できるものではありません。検知器ごとの定められた使用期限、期間を守ってください。また、検知器の定期的な管理、メンテナンス、校正、交換は必ずおこなってください。

テレニシ 細川さま



海外飲酒問題・飲酒運転施策の調査・交流

NIID 国立感染症研究所
NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の感染経路について

人は、咳、くしゃみ、会話、歌、呼吸などの際に、鼻や口からさまざまな大きさや性状をもった粒子を空中に放出する[1-5]。粒子はその大きさや含まれる液体の量によって空中での振る舞いが異なる。液体を含んだ大きな粒子は、放出されてから数秒から数分以内に落下するが、小さな粒子や乾燥した粒子は、空中に数分から数時間にわたって浮遊する[2-5]。従来、これらの粒子については大きさや性状に応じて飛沫やエアロソールと呼ばれてきた[4,5]。

SARS-CoV-2は、感染者の鼻や口から放出される感染性ウイルスを含む粒子に曝露することで感染すると考えられています。

Alcoholics Anonymous®

Have a problem with alcohol? There is a solution.

A.A. has a simple program that works. It's based on one alcoholic helping another.

Find A.A. Near You

State or Province, Town or City

Search Now

I Am... Looking for help with a drinking problem

Alcohol-detection systems could prevent more than a fourth of U.S. road fatalities

July 23, 2020

Alcohol-detection systems that stop people from drinking and driving could prevent more than a quarter of U.S. road fatalities and save upwards of 9,000 lives a year, a new study from the Insurance Institute for Highway Safety shows.

ESC Press Office

Alcohol may be more risky to the heart than previously thought

22 May 2022

Topic(s): Risk Factors and Prevention; Madrid, Spain - 22 May 2022: Levels of alcohol consumption currently considered safe by some countries are linked with development of heart failure, according to research presented at Heart Failure 2022, a scientific congress of the European Society of Cardiology (ESC).
"This study adds to the body of evidence that a more cautious approach to alcohol consumption is needed," said study author Dr. Bethany Wong of St. Vincent's University Hospital, Dublin, Ireland. "To minimise the risk of alcohol causing harm to the heart, if you don't drink, don't start. If you do drink, limit your weekly consumption to less than one bottle of wine or less than three-and-a-half 500 ml cans of 4.9% beer".

According to the World Health Organization, the European Union is the heaviest-drinking region in the world.² While it is well recognised that long-term heavy alcohol use can cause a type of heart failure called alcoholic cardiomyopathy,³ evidence from Asian populations suggests that lower amounts may also be detrimental.^{4,5} "As there are genetic and environmental differences between Asian and European populations this study investigated if there was a similar relationship between alcohol and cardiac changes in Europeans at risk of heart failure or with pre-heart failure," said Dr. Wong. "The mainstay of treatment for this group is management of risk factors such as alcohol, so knowledge about safe levels is crucial".

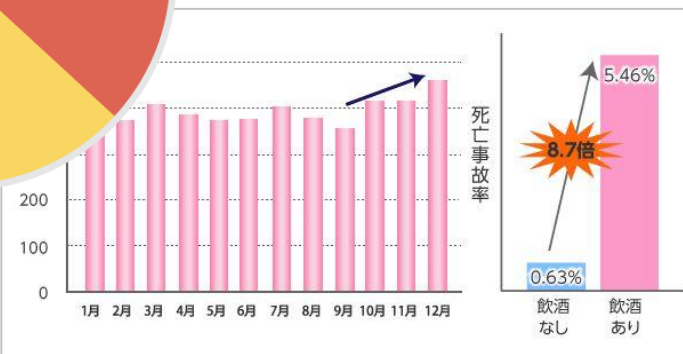
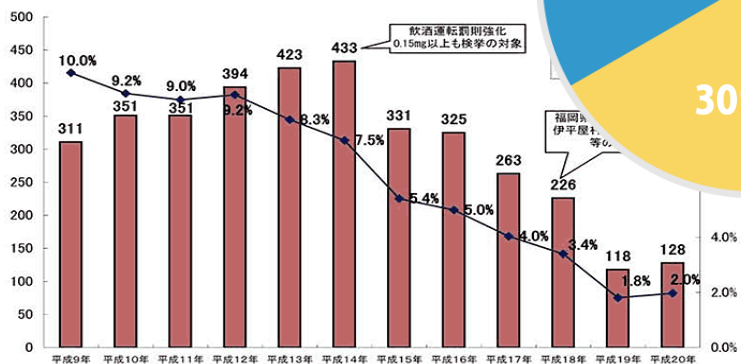
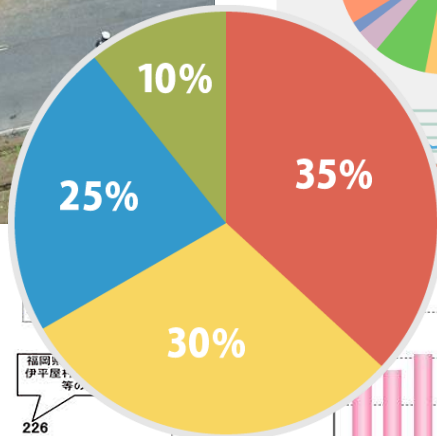
男性の交通事故死に占める飲酒運転の割合ランキング<169カ国>

順位	国または地域	男性の交通事故死に占める飲酒運転の割合	偏差値	評価
1	ベネズエラ・ボリバル共和国	66.9%	85.8	E
2	ナミビア	66.1%	85.2	E
3	ペルー	63.5%	76.4	E
4	南アフリカ	52.2%	75.5	E
5	ニカラガ	51.7%	75.1	E
6	リトアニア	49.7%	73.7	E
7	ロシア	49.2%	73.4	E
8	モルドバ	49.1%	73.3	E
9	ウクライナ	48.2%	72.7	E
10	シンバペ	47.7%	72.3	E
11	ラトビア	46.9%	71.8	E
12	メキシコ	45.2%	70.6	E
13	エストニア	44.9%	70.4	E
14	エルサルバドル	37.6%	65.2	D

東海電子 杉本さま

パイアール 平川さま

飲酒問題・飲酒事故における統計データの調査・分析





普及啓発活動における各種ツールの制作

中央自動車工業 (株) / ソシアクイシリーズ
▲SC-103 ▲SC-202 ▲SC-402 ▲SC-403 ▲SC-302
▲ALC-PROE ▲ALC-miniE ▲ALC-MobileE

東海電子 (株)
▲ALC-PROE ▲ALC-miniE ▲ALC-MobileE

業務用アルコール測定システム ALCシリーズ

(株) タニタ
▲FA100 ▲FC1000 ▲FC1200 ▲FC900 ▲HC211 ▲HC310
▲FA101 ▲FC1001 ▲FC1201 ▲FC901 ▲HC212 ▲HC311

サンコーテクノ (株) 多機能検知器
▲ST-3000

(株) ハイアール
▲A1-Checker ▲1-Checker II ▲1-Checker III

「アルコール検知器協議会」

アルコール検知器の品質向上と普及を通じて、飲酒運転根絶と健康管理を提唱。

2015年(平成27年)4月8日に、国や運輸業界から強い要請を受け、アルコール検知器の製造・販売に携わる企業によって、「アルコール検知器協議会」が発足しました。
飲酒運転による死傷事故が大きな社会問題になる中、過度な飲酒による健康障害も深刻化し、アルコール検知器の役割がますます重要なものになりつつある今日、その技術・品質の向上とともに、飲酒問題への対処・防止に対する正しい知識を啓発してまいります。

「アルコール検知器協議会」とは

- 団体名/アルコール検知器協議会
- 英文名/Japan Breath Alcohol Testing Consortium (略称/J-BAC)
- URL/ <http://www.j-bac.org>

設立の目的	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ●アルコール検知器の技術、品質の向上 ●アルコール検知器の普及と啓発、地位向上 ●大量採取等による飲酒問題の根絶 ●自動車等の飲酒運転の根絶 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●検知器の利用と活用に関わる普及と啓発 ●検知器の技術・品質向上のための調査研究 ●飲酒運転防止に関連する法令の周知・広報 ●専門知識を用いた交通安全の促進・普及 等

国土交通省をはじめとした各庁や関連機関・団体と連携しながら、皆様のお役に立てる活動を実践・継続してまいります。



**23年度の業務委員会も
よろしくお願ひ申し上げます**

EOF

Appendix

Memo